

公明党議員団

安全・安心に暮らせる我がまち
高槻を推進し、「大阪の高槻」から
「日本の高槻」へ飛躍！五十嵐秀城
宮田 俊治※笹内 和志
湯峯佳代子高島佐浪枝
吉田 章浩

三井 泰之

※は発言者

水道事業
経緯と今後の取組は

議員 本年10月から水道料金の改定を進めるとのことですが、課題について市民に明確に示すことが必要です。これまでの水道事業の経緯と今後の取組を伺います。

市長 今日まで支出の削減等を徹底し、健全経営に努めてきましたが、水需要

の減少等により今後は収支赤字等が見込まれる一方、管路等の耐震化が急務であるため、将来にわたり安定経営を行うための方策について検討を重ねた結果、本年10月から水道料金を改定します。改定は、基本料金を令和7年度は据え置き、令和8年度及び令和9年度は改定額を2分の1とする激変緩和措置を実施します。今後、料金改定への市民の理解醸成に取り組みとともに企業債の活用も念頭に入れながら安定経営に努め、安全で安心な水道水の安定供給を堅持していきます。



▲水道事業の現状などを記載した水道部のチラシ

令和7年度の市政運営に
対する市長の決意は

議員 未来に起こり得る課題に対して、リーダーシップを発揮し、進めていかなければならない現状において、市長の強い決意を

伺います。

市長 令和7年度の市政運営においても、市政の発展と市民福祉の向上に全力で取り組みます。

具体的には、高槻版地域共生社会モデルとして、にぎわいや交流を創出する全国初の取組となる（仮称）地域共生ステーションや本市総合防災力の飛躍的向上を図る（仮称）危機管理センターの整備など、大阪の高槻から日本の高槻として着実に歩みを進めるべく、施策を推進していきます。

まちづくりと連携した
交通施策の課題と今後は

議員 まちづくりと連携した交通施策について、地域等の課題や今後の市域全体への展開について、市の見解を伺います。

市長 人口減少等による利用者の減少に加え、路線バスの運転士不足が深刻化するなど、地域公共交通を取り巻く環境は厳しさを増す中、樫田地域で実証運行を実施するデマンド交通は、車両の小型化により路線バ

スの運転士不足の解消にも寄与するなど、重要な取組であると考えています。

今後も地域公共交通の維持に努めるとともに、地域特性に応じた移動手段の確保に向け、取り組みます。

自然災害への対策は

議員 頻発化・甚大化する自然災害に対する本市の取組について伺います。

市長 避難所の取組については、小中学校における空調設備及びマンホールトイレの整備、応急給水活動の充実、必要な物資等の備蓄に取り組みとともに、民間事業者等と災害時応援協定を締結するなど、環境の向上に努めています。

次に、災害ケースマネジメントについて、大阪府北部地震の際の経験を生かし、地域の関係団体と連携・協力した被災者支援の充実に取り組んでいきます。

また、民間建築物の耐震化では、令和7年度は木造住宅の耐震改修工事費用の補助額の増額や次期耐震化

アクションプランを策定し、安全・安心で災害に強いまちづくりを着実に進めます。



▲避難所で整備されるマンホールトイレ

子ども家庭みまもり
センター新設後の取組は

議員 子ども保健課と子育て総合支援センターの機能を統括する子ども家庭みまもりセンターの取組について、市の見解を伺います。

市長 同センターでは、従来の事業に加え、新たに児童育成支援拠点事業、地域子育て相談機関連事業、ヤングケアラーピアサポート事業など様々な支援に取り組むほか、個々の家庭状況に応じたサポートプランを作成し、関係機関との連携の下、包括的な支援を提供していきます。

体制は、センター所長をトップとした指揮命令系統